

FUKAYA News Release

市長定例記者会見次第

平成 27 年 12 月 24 日（木）
午前 10 時 30 分～11 時 30 分

1. あいさつ

2. 発表内容

ページ

(1) 【安全・安心な防災拠点、シンプルで機能的な庁舎を目指して】

新庁舎建設基本計画(案)を作成

1

(2) 【グローバル化時代のリーダー育成】

『こころざし深谷国際塾』

4

3. 次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：平成 28 年 1 月 28 日（木）午前 10 時 30 分～11 時 30 分

【安全・安心な防災拠点、シンプルで機能的な庁舎を目指して】
新庁舎建設基本計画（案）を作成

庁舎の現状と問題点

○現状

庁舎名	建築年	築年数	IS 値
本庁舎	S41	49 年	0.21
北別館	S49	41 年	—
西別館	H2	25 年	—
南別館	S43	47 年	—
産業会館	S42	48 年	0.03
教育庁舎	S46	44 年	0.22

※本庁舎は県内 40 市中 5 番目に古い庁舎

○問題点

- ①耐震性の不足
大規模地震時に倒壊又は崩壊する危険性が高い
国からの要請により、防災拠点としての高い耐震性
(Is 値 0.9 以上) が必要
- ②庁舎分散化による市民サービスの低下
- ③老朽化に伴う維持管理コストの増加
- ④庁舎の狭あい化
- ⑤庁舎のバリアフリー化

耐震化対策の検討

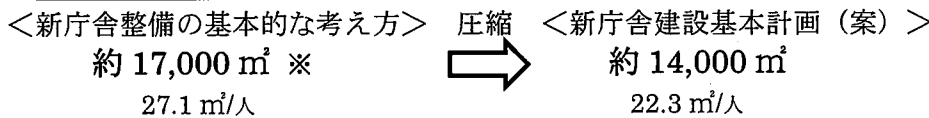
分散している 4 つの庁舎の耐震化対策について、3 つの案を設定し 60 年間の長期的な視点で比較検討した結果、「経済性」、「効率性」、「市民サービス」の全ての観点において<案 3>に優位性があり新庁舎建設を決定しました。

- <案 1> 4 つの庁舎を耐震補強、大規模改修
- <案 2> 本庁舎は耐震補強、大規模改修、3 つの外部庁舎を集約しプレハブ工法で建替
- <案 3> 本庁舎と外部庁舎を集約し新庁舎を建設

経済性	新庁舎整備は、初期投資経費が高額となるが、トータルコストで比較した場合、最も少ないコストとなる
効率性	庁舎の集約により、分散化の解消、事務の効率化を図ることができ、新庁舎整備により、エネルギー効率も上がり、維持管理コストの縮減が可能となる
市民サービス	庁舎の集約により、窓口が集約化され総合窓口機能の更なる充実、高い耐震性の確保、狭あい化の解消、ユニバーサルデザインへの対応等が可能となる

新庁舎建設基本計画（案）の概要

■ 新庁舎に必要な規模



※総務省起債許可標準面積算定基準により算出した面積。
 平成 23 年度の改正により、基準としての運用は廃止されているが、現在も庁舎建設の際、標準的な面積を算定するための基準として、多くの自治体が利用している基準

■ 概算事業費

82 億 8,000 万円 (消費税相当額 10%込)
 ※内訳は、建築本体工事費、外構工事費、付帯工事費及び設計・工事監理費
 ※ 2 年後の工事発注時までの物価変動分 (10%) を想定し算出

■ 資金計画

平成 32 年度まで起債が可能となった合併特例債を活用
 合併特例債 78 億 1,000 万円 一般財源 4 億 7,000 万円

■ 事業スケジュール

H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度
基本計画					
	基本設計・実施設計				
			建設工事		解体 外構工事

これまでの検討経緯及び今後の予定

年月日	検討経緯
平成 17 年 11 月	「建築物の耐震改修の促進に関する法律」改正
平成 22 年 3 月	深谷市建築物耐震改修促進計画策定 平成 27 年度までに『本庁舎を含めた市有特定建築物の耐震化 100%達成』を目標として設定
平成 23 年 3 月 11 日	【東日本大震災発生】
平成 23 年 6 月～ 平成 24 年 5 月	本庁舎を含む市有特定建築物の耐震診断業務の実施
平成 24 年 11 月	『深谷市公共施設適正配置基本方針』策定
平成 24 年 11 月～ 平成 25 年 2 月	『深谷市公共施設の在り方に関する事前協議会』の設置、開催（計 4 回） 事前協議会委員構成…議員 11 名、市執行部 3 名（副市長、企画財政部長、総務部長）、合計 14 名
平成 25 年 2 月 18 日	『事前協議会』から協議報告書が市長へ提出される 「本庁舎は耐震補強でなく、耐震性の低い外部庁舎を集約し現在の敷地内に新庁舎を建設することが望ましい。また、新庁舎建設の詳細は、市民を交えた協議の場において協議・検討すること」
平成 25 年 8 月～ 平成 26 年 2 月	『深谷市公共施設在り方検討市民会議』の設置、開催（計 5 回） 市民会議委員構成…議員 3 名、公募 3 名、学識経験者 2 名、自治会代表者 3 名、公共的団体等の代表者 7 名、合計 18 名
平成 26 年 3 月 7 日	『市民会議』から本庁舎を含む特定建築物の耐震化対策についての提言書が市長へ提出される 「本庁舎は耐震補強でなく、耐震性の低い外部庁舎を集約し新庁舎を建設すること。また、建設場所は現庁舎南側とし、合併特例債を活用すること」
平成 26 年 3 月 19 日	議会全員協議会において『深谷市公共施設在り方検討市民会議』から市長あてに提言書が提出された旨の報告を行う
平成 26 年 6 月 24 日	議会全員協議会において『深谷市公共施設在り方検討市民会議』からの提言を基本として、新庁舎建設の方針を決定した旨の報告を行う
平成 26 年 9 月 1 日	議会全員協議会において『新庁舎整備の基本的な考え方』を策定した旨の報告を行う

＜今年度の取組み＞

○深谷市新庁舎建設推進本部

平成 27 年 6 月 29 日から 11 月 25 日（6 回）

本部長：副市長、副本部長：教育長、本部員：部長級及び会計管理者（19 名）

○深谷市新庁舎基本計画検討有識者会議

平成 27 年 6 月 23 日から 11 月 5 日（5 回）

平成 27 年 11 月 13 日 市長へ「提言書」が提出される

※設置要綱、委員名簿、協議経過、提言書は、別添資料「基本計画（案）」の資料編 P 61 に掲載

○パブリックコメントの募集

募集期間 平成 28 年 1 月 7 日（木）～2 月 5 日（金）

○新庁舎建設に関する市民説明会

日時・場所 平成 28 年 1 月 17 日（日）午後 2 時～ 花園文化会館アドニス

1 月 30 日（土）午後 2 時～ 深谷市民文化会館小ホール

〔問い合わせ先〕

深谷市企画財政部 公共施設改革推進室

☎ 048 - 568 - 5009

県内40市 本庁舎の築年数一覧

平成27年12月現在

1

築年数 順位	市名	耐震化 対策	主たる庁舎	
			①建築年	②築年数
1	川口市(本館)	☐	S34	56
	川口市(新館)		S39	51
1	桶川市	☐	S34	56
3	蕨市	▲	S39	51
4	草加市	☐	S40	50
5	深谷市	☐	S41	49
6	志木市	☐	S42	48
7	幸手市	▲	S42	48
8	吉川市	☐	S43	47
9	行田市	☒	S44	46
9	越谷市	☐	S44	46
11	東松山市	☒	S45	45
11	春日部市	☐	S45	45
11	戸田市(既存棟)	☒	S45	45
	戸田市(増築棟)		S57	33
14	八潮市	▲	S46	44
14	坂戸市(旧館)	☒	S46	44
	坂戸市(新館)		S54	36
16	川越市	☒	S47	43
16	飯能市	☒	S47	43
16	朝霞市	☒	S47	43
16	ふじみ野市	☒	S47	43
20	さいたま市(高層棟)	☒	S48	42
	さいたま市(低層棟)		S48	42
20	熊谷市	☒	S48	42
20	入間市	▲	S48	42
20	富士見市	☒	S48	42
24	羽生市	☒	S49	41
24	鴻巣市	☒	S49	41
24	新座市	☐	S49	41
27	久喜市	☒	S55	35
28	三郷市	—	S58	32
29	加須市	—	S60	30
30	所沢市	—	S61	29
30	狭山市	—	S61	29
32	蓮田市	—	S62	28
32	日高市	—	S62	28
34	鶴ヶ島市	—	S63	27
35	上尾市	—	H3	24
36	本庄市	—	H4	23
36	和光市	—	H4	23
36	白岡市	—	H4	23
39	北本市	☐	H26(S38)	1(52)
40	秩父市	☐	H28(S37)	—(53)

【凡例】

建替(工事済・中含む)	☐
耐震補強(工事中含む)	☒
新耐震	—
未定・検討中	▲

【グローバル化時代のリーダー育成】 「こころざし深谷国際塾」

■ 目的等

渋沢栄一翁の「立志の精神」と「忠恕の心」を受け継ぎ、伸びようとする子を更に伸ばし、広く社会貢献できる人材（リーダー）を育成します。

今年度は JICA と連携して 6 回目の開催となります。

■ 日時

平成 28 年 1 月 23 日（土） 10:00 ～ 16:00

平成 28 年 1 月 24 日（日） 8:00 ～ 18:00

平成 28 年 1 月 30 日（土） 10:00 ～ 16:00

* 学校の休業日を活用して実施します。

■ 場所

深谷市立教育研究所 深谷市本住町 12-8

JICA 地球ひろば 東京都新宿区市谷本村町 10-5

■ 概要

参加対象 深谷市内小学校 5 年生～中学校 2 年生（希望者）

募集定員 30 名

1 日目（深谷市立教育研究所）

- ・外国人指導者による英会話体験
- ・国際協力等についてのグループディスカッション

2 日目（JICA 地球ひろば）

- ・地球ひろば見学ゾーンで、世界の食糧問題や教育問題について学ぶ。
※青年海外協力隊経験者とのふれあい等

3 日目（深谷市立教育研究所）

- ・児童・生徒が、学んだことをもとに英語でプレゼンテーションを行う。
※各学校においても、後日体験発表を実施

■ その他

主催：深谷市教育委員会 後援：JICA（独立行政法人 国際協力機構）

■ 問い合わせ先

深谷市教育委員会 学校教育課（担当 松澤）

TEL 048-572-9578

渋沢栄一翁の心を受け継ぐ

こころざし深谷国際塾

深谷発 世界へ！

集まれ！ 次の時代を担う者たち

期日

2016年 1 / 23 (土) 深谷市立教育研究所

2016年 1 / 24 (日) JICA(東京都新宿区)

2016年 1 / 30 (土) 深谷市立教育研究所

募集対象

市内小学校5年生 ～ 中学校2年生

定員

30名 (定員を超えた場合は、作文審査と抽選を行います。)

申込期間

平成27年11月27日(金)
～ 平成27年12月21日(月)

問い合わせ

深谷市教育委員会 (学校教育課)
TEL 048-572-9578 FAX 048-574-1744

主催：深谷市教育委員会

実施要項

主催：深谷市教育委員会（学校教育課） 後援：JICA（独立行政法人 国際協力機構）

日時・会場

第1日目 平成28年1月23日（土） 10:00～16:00 深谷市立教育研究所
 第2日目 平成28年1月24日（日） 8:00～18:00 JICA 地球ひろば
 第3日目 平成28年1月30日（土） 10:00～16:00 深谷市立教育研究所

参加資格 市内小学校5年生～中学校2年生（原則として3日とも参加できること）

募集定員 30名 ※ 定員を超えた場合は、作文による選考を行います。更に定員を超えている場合は、抽選を行います。
 【公開抽選日】平成28年12月25日（金）13:30 教育庁舎1F

参加費用 1,000円 ※ 第2日目の昼食代、資料代等
 ※ 1,3日目は、各自で昼食（弁当）を用意してください。

日程等

第1日目 平成28年1月23日（土） 深谷市立教育研究所

時間	イベント	主な内容
10:00	開会行事	あいさつ、日程説明、講師紹介
	英会話 講話 討議	午前 ○英会話体験 午後 ○国際協力についての講話 ○グループ討議
15:45	閉会行事	感想シート記入、あいさつ

第2日目 平成28年1月24日（日） JICA 地球ひろば（東京都新宿区）

時間	イベント	主な内容
8:00	バス集合出発	市教育庁舎からバスで出発（バス代無料）
	講話 体験 ワークショップ	午前 ○海外青年協力隊員の講話 午後 ○地球ひろば体験ゾーン見学 ○ワークショップ
18:00	深谷市着	市教育庁舎に帰ってきます。

第3日目 平成28年1月30日（土） 深谷市立教育研究所

時間	イベント	主な内容
10:00	開会行事	あいさつ、日程説明、紹介
	発表準備 発表	午前 ○発表準備（英語の先生がお手伝いします。） 午後 ○発表（参加したこどもたちが発表します。）
15:45	閉会行事	修了証交付、あいさつ

申込み方法

【申込みの流れ】

① 担任の先生に
参加希望を伝
え、申込用紙
をもらう。



② 必要事項を
記入する。
③ 作文を書く。



④ 校長先生に提
出する。

申込期間 H27年11月27日（金）～ H27年12月21日（月）

深谷市独自 こころざし深谷国際塾 FUKAYA

立志と忠恕の深谷教育

渋沢栄一翁の精神を受け継ぐリーダーの育成



今回が6回目!

国際理解・国際貢献の体験学習をとおして

- 国際社会で、広く社会貢献できるリーダーの育成
- 対象学年 小学校5年生～中学校2年生
- 実施時期 1月23日(土)、24日(日)、30日(土)
- 募集定員 30名



事前学習 料理で国際理解



JICA地球ひろばでの体験



英語による体験発表



教育長より修了証授与